



聖書
テーマ
暗唱聖句

列王上12・1~19

レハベアムとヤラベアム
怒りをおそくする者は大いなる
悟りがあり、気の短いものは愚
かさをあらわす。箴言14・29
思いやりのある優しい言葉を使
う者となる。

目標

7月1日(日)

聖書
聖句

列王上12・1

レハベアムはシケムへ行った。すべ
てのイスラエルびとが彼を王にしよ
うとシケムへ行ったからである。1節

レハベアムはソロモンの息子。これから、レ
ハベアムとイスラエルの人々がシケムという
ところで会うことになっています。実は、ソロモ
ンの次の王様になるためには、イスラエルの
人々に「王様になっていいですよ!」と、みと
めてもらわないといけません。

あなただったら、どんな王様がいい? えらそ
うで可愛い王様? そんなはずないですね、やさ
しい王様がいいに決まっています。今週の目標
は「思いやりのある優しい言葉」。よく「思いや
りがたいせつ」と聞くとおもうんだけど、思い
やりと優しさがどんなに大切か、神様が教えて
くださいます。

祈り 天のお父様、わたしに、思いやりと優しさ
について教えてください。

7月2日(月)

聖書
聖句

列王上12・2~5

父上がわれわれに負わせられた重い
くびきを軽くしてください。4節

イスラエルの人々は、ソロモンの家来だった
ヤラベアムといっしょに、レハベアムに会いに
行きました。そしてこう言いました。「あなた
の父上のソロモン王が、わたしたちに重い税金
と仕事をさせたので、それを軽くしてください。
そうしたら、わたしたちはあなたに仕えま
す!」。

イスラエルの人々は、税金と仕事で苦しんで
いることを、レハベアムにわかってほしかった
のです。自分たちの苦しみをわかってくれる、
思いやりのある王様に仕えたかったです。思
いやりって、まずは人の気持ちや苦しみをわ
かってあげることから始まるんですよ。

祈り 天のお父様、人の気持ちや苦しみをわかっ
てあげられる人になれますよう、わたしを
みちびいてください。

7月3日(火)

聖書
聖句

列王上12・6~7

この民のしもべとなって彼らに仕え、
彼らに答えるとき、ねんごろに語られ
るならば、7節

イスラエルの人々の税金と仕事を軽くしたら
よいか? レハベアムは、お父さんのソロモンに
仕えていた長老たちに相談してみました。
長老たちは、「あなたがしもべのように人々に
仕えて、親切に話してあげたら、彼らはずっと
あなたに仕えますよ!」とアドバイスしました。
ソロモンの時代から人々をみてきた長老たち
は、人々の苦しみをよくわかっていたのです。
「ねんごろに語る」というのは、思いやりをもつ
て親切に話すこと。相手の気持ちをわかってあ
げて、思いやりの言葉をかける。その大切さが、
このみことばを読むとわかるでしょう。

祈り 天のお父様、思いやりのこもった親切な
言葉を、わたしにあたえてください。

7月4日（水）



列王上12・8～11

わたしはさらに、あなたがたのくびきを重くしよう。 11節

あれ？ レハベアムは、せっかく長老たちに良いアドバイスをもたらしたのに、今度はとんでもないアドバイスをもたらしていますよ。彼は長老たちのアドバイスが気にいらなかったのので、つぎに若者たちに相談したのです。若者たちは、「父上のソロモン王よりもっと重い税金と仕事をさせる！と言いなさい」とアドバイス。「わたしはソロモンよりえらくて、すごい王様だ！と見せつけてやりなさい！」ということです。

長老たちとは正反対、思いやりも、やさしさもないアドバイス！自分がえらくなることだけを考えればいいなんて。自分のことだけを考えると、思いやりってなくなるんです。

いの祈り 天のお父様、わたしが自分のことだけを考えて思いやりがなくならないよう助けてください。

7月5日（木）



列王上12・12～15

王は荒々しく民に答え、老人たちが与えた勧めを捨てて、 13節

へんじをする約束の日、ヤラベアムとイスラエルの人々は、レハベアムのところにやってきました。なんとレハベアムは、「あなたがたの税金と仕事を重くする！」とへんじをしたのです。自分がえらい王様だと見せつけたくなり、長老たちのアドバイスは捨てて、自分の気に入った若者のアドバイスどおりにしたのです。しかも、えらそうに荒々しく話しました！もう、おそろしい、ひどい、感じる～い！

レハベアムは王子として育ったので、苦しんでいる民の気持ちがわからなかったようです。ひどい人！と思ってしまうけど、立場がちがう人の苦しみて、わかりにくいものですね。

いの祈り 天のお父様、立場のちがう人の苦しみを思いやることができますように、わたしを助けてください。

7月6日（金）



列王上12・16～19

われわれはダビデのうちに何の分があろうか、エッサイの子のうちに嗣業がない。 16節

レハベアムのひどい返事に、ヤラベアムとイスラエルの人々の気持ちは最悪。「もう、レハベアムを王様としてみとめない。ダビデの家族には、もう仕えない！」と決めました。カンカンにおこった人々は、ヤラベアムを自分たちの王様にしたのです。ヤラベアム王と、レハベアム王、王国はふたつに分裂してしまいました。

思いやりがない、人をきずつける言葉で、こんな大事件がおこってしまいました。思いやりがないと、最後は相手も自分も苦しむことになるのです。レハベアムは、まさかこんなことになるなんて、思っていなかったのです。

いの祈り 天のお父様、思いやりのない言葉で、自分まで苦しむことを知りました。思いやりの大切さがわかって感謝です！

7月7日（土）



箴言14・29

怒りをおそくする者は大いなる悟りがあり、気の短いものは愚かさをあらわす。 29節

気が短くて、すぐおこってどなったり、人をきずつける言葉をいう人。そんな人は「わたしは愚かもので～す」と自分から広めるようなものだ、と言っていますね。レハベアムのように、さびしく、つらい人生になるでしょう。

しかし、すぐに怒らず、思いやりのある優しい言葉を使う人は、神様によろこばれ、すてきな人だな～って人々に愛されます。自分はどんな言葉を使っているんだろ…。言葉の失敗は、いちばんしやすい失敗で、気づきにくいですよ。あなたから、思いやりのある優しい言葉がひろがりますように！ 神様に祈って、さあ実行！

いの祈り 天のお父様、きょうから思いやりのある優しい言葉を使っていけるよう、わたしに実行する力をあたえてください！



聖書
テーマ
暗唱聖句

歴代下32・9～22

ヒゼキヤ

われわれと共にいる者は彼らと共にいる者よりも大いなる者だからである。

歴代下32・7

目標

大いなる神の守りを信じて生きる。

7月8日（日）

聖書
聖句

歴代下32・9

この後アッスリヤの王セナケリブはその全軍をもってラキシを囲んでいた。

9節

先週は分裂したイスラエルをまなびました。北イスラエルと南ユダにわかれたのですが、その南ユダ王国におきた大ピンチのシーンを読んでいきます！

南ユダに、アッスリヤという大きくてつよい国がせめてきました。ふつうに考えて、ユダが勝てる相手ではありません。その時のユダの王様はヒゼキヤ。彼は、心から神様を信じている王でした。神様を信じる人にもピンチはやってきます。どんなピンチがやってこようと、そこでたすけてくださるのは、やっぱり神様です。

いの祈り

天のお父様、ピンチからたすけてくださるあなたの力を、おしえてください。

7月9日（月）

聖書
聖句

歴代下32・10～14

どうしてあなたがたの神が、あなたがたをわたしの手から救い出すことができよう。

14節

アッスリヤの王はセナケリブ。彼は、ヒゼキヤとユダの人々に「おまえたちが信じる神は、おまえたちを助けられない」と言っています。彼は、偶像礼拝する国々をやっつけてきたので、「おまえたちだって同じだ、ほかの国の神々は、誰も助けられなかったぞ」と言うのです。

セナケリブは、ほんとうの神様と偶像というしよにして、神様を信じるなど言ってきました。神様の悪口を言ったうえに、神様への信頼をうしなわせようとしたのです。でも、ほんとうの神様はこのままではおわりませんよ。

いの祈り

天のお父様、あなたは言われっぱなしで負けるおかたではありません。わたしはあなたを心から信じていきます。

7月10日（火）

聖書
聖句

歴代下32・15～17

あなたがたは、ヒゼキヤに欺かれてはならない。そそのかされてはならない。また彼を信じてはならない。

15節

セナケリブは、こんどはヒゼキヤの悪口を言いふらしています。ヒゼキヤがユダの人々に「神様が助けてくださる。神様が戦われる！」と話して、はげましていたからです。「ヒゼキヤはウソを言っている。だまされるな」と、神様を信じるヒゼキヤを悪く言い、ヒゼキヤ王とユダの人々のかんけいをこわす悪だくみです。

神様を信じる人がばかにされたり、悪口を言われることはあります。でも、ここで忍耐！神様が助けてくださるときを待ってください。

いの祈り

天のお父様、あなたを信じることをばかにされても、忍耐してあなたの助けを待てるよう、わたしをおまもりください。

7月11日(水)

聖書
聖句

歴代下32・18~19

彼らは大声をあげ、ユダヤの言葉をもって、城壁の上にいるエルサレムの民に向かって叫び、これをおどし、かつおびやかした。 18節

苦しいヒゼキヤとユダの人々に、さらにセナケリブの家来も大声をあげてきました。イザヤ書と列王紀下にもこのシーンが書かれています。「おまえたちの神は助けてくれない。ヒゼキヤの言うことは聞くな！もう降参するんだ！」。ここまでつよく言われると、ほんとうにそうかも…とおもってしまいそうです。

神様を信じるのをやめようか…と思うこと、これが人生でいちばんのピンチです！でも、それは悪魔の作戦だと、覚えていてください！

いの祈り 天のお父様、あなたを信じないなんて考えたくもありません。わたしが悪魔の作戦に気づけるよう助けてください。

7月12日(木)

聖書
聖句

歴代下32・20

そこでヒゼキヤ王およびアモツの子預言者イザヤは共に祈って、天に呼ばわれた。 20節

ああ、ここまではなんだか苦しいシーンでした。しかしそれもここまでです。ヒゼキヤ王は、さんざん神様と自分の悪口を言われ、おどされましたが、つらい気持ちを神様に祈りました！しかも、ひとりではありません。ヒゼキヤには預言者イザヤという心強い祈りの友がいたのです。ヒゼキヤとイザヤは心あわせて、天地をつくられたほんとうの神様に祈ったのでした。

あなたには教会のお友だちがいるでしょう。ぜひ、ともに祈る友だちになりましょう。ヒゼキヤにもあなたにも、すごいことがおこる予感！

いの祈り 天のお父様、いっしょに祈るすばらしさをしりました。教会のみなさんと、祈りの友になりたいと思います！

7月13日(金)

聖書
聖句

歴代下32・21~22

主はひとりのみ使をつかわして、アッシリヤ王の陣営にいるすべての大勇士と将官、軍長らを滅ぼされた。 21節

さあ、ついに、神様が助けてくださる時がきました。たったひとりのみ使いがつかわされ、アッシリヤの大軍はあっという間にほろぼされてしまいました！あわててにげたセナケリブ、神様をばかにしたのを後悔しても、もうおそい。神様を敵にすると、こういう結果になるのです。彼もかなしい最期をむかえたのでした。

どんな大軍、武器も、この世のどんなものも、天地をつくられた神様の相手にはなりません。神様がくださる勝利は、圧勝です。

いの祈り 天のお父様、わたしがピンチのとき、あなたが圧倒的な勝利をくださることを信じます！

7月14日(土)

聖書
聖句

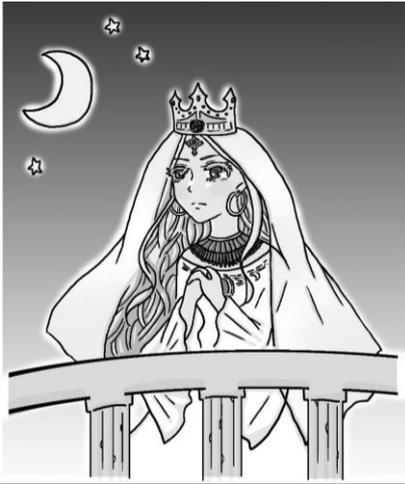
歴代下32・7

われわれと共にいる者は彼らと共にいる者よりも大いなる者だからである。 7節

ヒゼキヤは、ふつうに考えたらぜったい勝てない戦いなのに、「わたちたちとともにいる神様はアッシリヤよりもっとすごいお方だ！」と神様だけを信頼しました。そうしたら、ヒゼキヤが予想できない方法で、神様が完全勝利され、ユダ王国を守ってくださいました。

あなたがピンチのとき、ヒゼキヤのように、まず神様を信頼して祈ること。戦いがつづいてつらくても、神様にたよって祈りつづけるのです。だいじょうぶ。はっきり言って、神様はあなたが考えるより、すごいお方なんです。

いの祈り 天のお父様、あなたはわたしの想像をこえるお方です。あなたの守りを信じて、あゆんでいきます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

エステル4・1~17
エステル
わたしがもし死なねばならない
のなら、死にます。

エステル4・16

目標

神からの使命を命がけで果たす
ものとなる。

7月15日(日)

聖書
聖句

エステル4・16
わたしがもし死なねばならないの
なら、死にます。 16節

なにが本当に正しいのかしっぴかりかんがえて、それをしようと心でしっぴかりときめることを決断といいます。ときどき、わたしたちも「決断」しないといけないときってあるね。

エステルも、大きな決断をしなければならいませんでした。かんたんじゃなかったよ、自分の命を守るか、自分が死んだとしてもしなければならいのか、というくらいなもの！そして、自分の命をかけることをえらんだんだね！

あなたも、たいせつなときに、本物の決断、神様の喜ぶ決断をしよう！

祈り

天のお父様、わたしにも、ここだというときに、エステルのように本物の決断ができる強さをください。

7月16日(月)

聖書
聖句

エステル4・1~3
ユダヤ人のうちに大いなる悲しみが
あり、断食、嘆き、叫びが起り、ま
た荒布をまとい、灰の上に座する者
が多かった。 3節

いったいどうしたの！？じつは、本当の神様を信じるユダヤ人のモルデカイが、ペルシャの大いじんハマンにひざまずかなかったので、それを気に入らないハマンがユダヤ人をみなごろしにする計画をし、王様にうまく言って命令を出させたのです！ユダヤ人たちは神様にむかっていたのり、さげびました。

いつの時代にも、神様を信じる人たちを苦しめようとする人はいるけれど、そんなとき、平気でいてはいけません。神様にむかって心からお祈りし、助けてくださいと叫ぶのです。

祈り

天のお父様、あなたを信じる人が苦しむとき、心から祈れますように。

7月17日(火)

聖書
聖句

エステル4・4~8
モルデカイは自分の身に起ったすべ
ての事を彼に告げ…彼女に言い伝え
よと言った。 7~8節

モルデカイもふかく悲しみました。でも、ほかのユダヤ人とはちよっとちがうね！

モルデカイは、自分がこれからどんなことをすればいいのかわかっていたのです。お城にいるエステルはまだ、ユダヤ人がみんな殺される命令を知りません。そこで、エステルにこのことを知らせ、王様にハマンの悪い計画をつたえようとしたのです。そして、ちゃんとしたしようこもエステルに知らせたのです。

危険な中でも、知恵をはたらかせ、おちついて行動したモルデカイの心の中には、神様への強い信仰とユダヤ人への愛がありました。

祈り

天のお父様、危険なとき、あなたを強く信じ、おちついて行動できますように。

7月18日(水)

聖書
聖句

エステル4・9~11

しかしわたしはこの三十日の間、
王のもとへ行くべき召をこうむら
ないのです。 11節

モルデカイの伝言を聞いたエステルは、一つ
のことを心配していました。ペルシャの国の
王様によべられないで会いに行くなら、どんな人
も死刑になること。でも、王様が金の笏をこ
ちらへさし出してくれたら、ゆるされる、とい
うきまりがあったのです。

エステルは、ペルシャの王様にいちばん愛さ
れているお妃でした。そんなエステルでもど
うなるかわからないのです。ただ、エステルは
まだ気づいていないことがありました。沢山の
ユダヤ人の心配よりも、自分がどうなるか、と
いう心配をしているということでした。

いの
祈り

天のお父様、自分のことでなく、みんな
を心配することができますように。

7月19日(木)

聖書
聖句

エステル4・12~13

あなたは王宮にいるゆえ、すべての
ユダヤ人と異なり、難を免れるだろ
うと思っはならない。 13節

あなたには毎日やらないといけないことが
たくさんあるね。宿題や勉強、ならいごと、
クラスでの係り、だれかとのやくそく…そうい
うことをくりかえしながら成長するんだね！

でも、せきにんをわすれると、大人の人から
怒られるでしょ？ あなたをビシッとしかる人、
まちがいをなおしてくれる人のこと、「うるさ
いな」なんて思っはませんか？ 自分のまちが
いを教えられたら、そのことに早く気づき、す
なおに従える心をもっはいてくださいね！

いの
祈り

天のお父様、怒ってくれる人にも感謝し
て、自分のせきにんを思いだし、従え
ますように。そして、成長していきま
すように。

7月20日(金)

聖書
聖句

エステル4・14

あなたがこの国に迎えられたのは、
このような時のためでなかったとだ
れが知りましょう。 14節

モルデカイは、エステルに、せきにんのこと
だけを教えてくれたのではありません。

エステルが動かないなら、ちがう方法でユダ
ヤ人を助ける神様への信仰、そして、エステル
がユダヤ人でペルシャ王妃になれた理由、です。

だれもがとくべつな立場や役割をもらっ
たら、自分のためだけのものとかんがえやすいね。

でも、神様はあなたが、その立場と役割をみ
んなのために使っはほしいとねがっはおられ
ることを、わすれないでくださいね！

いの
祈り

天のお父様、もし、とくべつな立場や
役割をもらったら、そのときはわたしの
ためではなく、だれかのために使えます
ように。

7月21日(土)

聖書
聖句

エステル4・16

スサにいるすべてのユダヤ人を集め、
わたしのために断食してください。 16節

ペルシャの王様からいちばん愛され、大切に
されていたエステルだったけれど、なんでも
自由でわがままにしていとか、わたしなら大
丈夫だわ、なんて思っははなかったよ。それ
どころか、みんなといっしょに神様の前に必死
にお祈りして、知恵や力をもらえなければ、
なにもできないって思っはいたんだね。

わたしたちは、「自分の力」でできると思っ
たり、生きていと思うことがあるかもしれな
いね、でもそれはちがうよ。神様は、あなたの
命や人生を動かされるお方。あなたのいのり
にかならずこたえてくださるお方です！

いの
祈り

天のお父様、大切なことのために、知恵
と力をあたえてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マルコ 7・17～23
人を汚すもの
これらの悪はすべて内部から出てきて、人をけがすのである。

目標

マルコ 7・23
内面の罪に気づき、悔い改める者となる。

7月22日（日）

聖書
聖句

マルコ 7・17
イエスが群衆を離れて家にはいられると、弟子たちはこの譬について尋ねた。 17節

聖書には、いろんな神様のおしえが書かれています。でも、パリサイ人や律法学者たちは、人間の考えやつごうで、聖書のほんとうの意味を変えて、人々におしえていました。それで、イエス様は「それはまちがっていますよ！」と、なんども人々におしえておられたんです。

でもときどき、弟子たちもイエス様の言っていることがわからなくて、イエス様にしつもんしていました。みことばのほんとうの意味をきちんと知るために、わたしたちはいつもイエス様に聞くひつようがありますね。

いの祈り

天のお父様、あなたのみことばのほんとうの意味を知るために、いつもイエス様にきいていきます。

7月23日（月）

聖書
聖句

マルコ 7・18～19
すべて、外から人の中にはいつて来るものは、人を汚し得ないことが、わからないのか。 18節

パリサイ人たちは、食事をするとき、かならず手をあらって食べていました(2～4節もよんでね)。だから、手をあらわないでパンを食べたイエス様の弟子に、「なんで手をあらわないの？ わるいことだ」と責めたのです。手をあらう、というのは人のおしえなのに、まるで神様のおしえのように考えています。

イエス様は「汚い手で食べて人の中に入ったとしても、それが人の心を汚す罪ではないでしょ。食べたものはトイレで出ていくだけでしょ」。いや～、まったくそのとおり。

いの祈り

天のお父様、神様のおしえと人の考えを、わたしがごちゃまぜにしないよう助けてください。

7月24日（火）

聖書
聖句

マルコ 7・20
人から出て来るもの、それが人をけがすのである。 20節

イエス様は、汚い手やお皿で食べたとしてもそれは人の心の汚す罪ではない、と言われました。さらに言われます、「人から出てくるものが、人の心を汚すのです」と。心の中を汚す罪は、人の心の中から出てくるんだ、というのです！

さあ、つぎはイエス様が、人がおかす罪をつぎつぎと話されますよ…聞きたくないかも…。いやいや、どんな罪があるのか知ること、そして、しっかり自分の罪とむきあわないと。それがイエス様のねがいです。だからくわしく話されたのです。

いの祈り

天のお父様、ドキドキしますが、わたしがしっかり罪とむきあえるよう、たすけてください。

7月25日(水)

聖書
聖句

マルコ7・21~22

すなわち内部から、人の心の中から、悪い思いが出て来る。不品行、盗み、殺人、
21節

イエス様がまず話されたのは「不品行」。すべての性的な罪です。気をつけて。あなたのまわりは、本もインターネットも、いやらしい情報だらけ。ほかには、たとえば、結婚をしていないのに恋人同士で住んだり、お泊りしたり。それは罪だとイエス様は言われます！不品行は、しあわせな結婚を台無しにするのです。次は「盗み」。万引きだけじゃない、かりたものを返さないのも盗みです。「殺人」。これはないよ、と思う？ 心の中で人をにくむことも、心で殺人をしているのです。

いの祈り 天のお父様、不品行、盗み、殺人の罪をしりました。罪を犯していたら教えてください。そしてどうぞおゆるしてください。

7月26日(木)

聖書
聖句

マルコ7・22

姦淫、貪欲、邪悪、欺き、好色、妬み、誹り、高慢、愚痴。 22節

「姦淫」は、結婚している人が、夫、妻以外の人を恋人にすること。家族をこわすおそろしい罪です。「貪欲」。お金がほしい、あれもこれもほしいという、よくばりのことです。わたしたちは、ほんとうは必要ないものを、次々にほしくなるとまらなくなることがあります。「欺き」。人にうそをついたり、だましたりすることです。わたしたちはうそをつきやすいものです。「好色」。異性を見るとき、あの子カッコイイ、あの子カワイイ、あの子も…と度がすぎるのは好色ですよ。神様がつくられた尊い人として、異性を見てほしいのです。

いの祈り 天のお父様、姦淫、貪欲、欺き、好色の罪をしりました。わたしの罪を教えてください。そしてどうぞおゆるしてください。

7月27日(金)

聖書
聖句

マルコ7・22

姦淫、貪欲、邪悪、欺き、好色、妬み、誹り、高慢、愚痴。 22節

「妬み」。悪い目で人を見ることです。くやしい、頭にくる…そんな目で人を見ることはないでしょうか。「誹り」。悪口を言うことです。悪口の罪は、みんなが犯しやすく、自分で気づきにくいです。「高慢」。自分はあるが、これもできる、あの人よりわたしのほうがいいよね…と、じまんする心です。神様にたよらなくても平気、わたしできるもん…これがいちばんの高慢。「愚痴」、ほかの聖書では「愚かさ」。正しいことか悪いことかを考えないで、人を困らせたり悲しませたりすること。そんなニュースをよく聞くけど、あなたはどうか。

いの祈り 天のお父様、妬み、誹り、高慢、愚痴の罪をしりました。わたしの心を調べて、はっきり罪を教えてください。

7月28日(土)

聖書
聖句

マルコ7・17~23

これらの悪はすべて内部から出てきて、人をけがすのである。 23節

どうして、わたしたちは罪を犯すのでしょうか。いろんな罪のものは、人の心の中にあるからです。罪が心にあるので、罪を犯してしまうのです。心の中にある罪をみとめないで、いつまでも解決しません。そして、永遠の滅びにむかっていってしまうのです。

罪をみとめるって、むずかしい。わたしは悪くない！と言いたくなります。でも、イエス様が永遠の天国にむかえてくださる人は、罪をみとめて悔いあらためる人。イエス様はあなたが罪を悔いあらためることを、なによりも喜ばれるのです。

いの祈り 天のお父様、わたしの心に罪があることをみとめて、悔いあらためます。わたしを永遠の天国にみちびいてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

I コリント 15・3~8
キリストの死と復活
キリストが、聖書に書いてある
とおり、わたしたちの罪のために
死んだこと…三日目によみが
えったこと。

I コリント 15・3~4

目標

キリストの十字架の死と復活が
わたしたちのためと知り、キリスト
を信じる。

7月29日(日)

聖書
聖句

I コリント 15・3~4
キリストが、聖書に書いてあると
おり、わたしたちの罪のために死んだ
こと…三日目によみがえったこと。
3~4節

イエス様の十字架と復活のできごとは、ユダ
ヤの国をとびだし、25年後にはギリシャの都市
コリントにとどいていました。伝えたのはパウ
ロという人だよ。

もし、イエス様のことが伝言ゲームみたいに
少しずつねじまがって伝わっていたら、日本に
とどくころにはぜんぜんちがうお話しになっ
ていたよね。でも、全世界に、同じものが残り、
伝えられているということは、正しく受け取り、
正しく伝える人がいたからだね。すごいね!

いの
祈り

天のお父様、イエス様のことがわたしの
国にも正しくとどいていることを感謝
します。

7月30日(月)

聖書
聖句

I コリント 15・3
最も大事な事としてあなたがた
に伝えたのは、わたし自身も受けた
ことであった。3節

パウロは「最も大事な事」はなにかを教え
てくれています。

もし、イエス様が死んで生き返らなかつた
ら？ 無実の罪で殺されたかわいそうな人だし、
聖書に書いてあることはぜんぶウソで、キリス
ト教はなくなるよね。でも、イエス様はよみ
がえただけでなく、たくさんの証拠も残した
んだね。証拠があったから、本当に起きたこと
として伝えられたんだね。

これがグッドニュース、福音なんだね!

いの
祈り

天のお父様、イエス様の死とよみがえり
がいちばん大切なことだと知ることが
でき、ありがとうございます。

7月31日(火)

聖書
聖句

I コリント 15・5
ケパに現れ、次に、十二人に現れ
た。5節

ケパというのはイエス様の一番弟子ペテロ
のこと。イエス様と三年半いっしょにいたお
弟子さんたちも、十字架の意味やそのあとおき
ることが理解できませんでした。イエス様が死
んだとき「ああもうだめだ、終わりだ」とガッ
カリして希望がなくなっただろうね。

だから、お弟子さんたちが復活のイエス様に
出会えたときにはどんなにうれしかったか、そ
してたくさん希望がもてたか! と思うんだ。

そんな希望と喜びが、お弟子さんたちの「イ
エス様のことを伝えたい」力になって、世界に
ひろがっていったんだね。

いの
祈り

天のお父様、復活のイエス様がたくさん
の人に力を与えたことを知ることがで
き、ありがとうございます。

8月1日(水)



I コリント 15・6
五百人以上の兄弟たちに、同時に
現れた。 6節

キリスト教は、お弟子さんがイエス様の死んだ体をかかして、よみがえったって作り話をしているんだよ、って考え方がありみたい。

イエス様が復活したときもそう。イエス様を殺した人たちはそんなうわさをユダヤ中に流したんだ。でもどうだろう？ なんと500人以上のイエス様を信じる人たちにも、復活のイエス様は会ってくださっていたんだね。

人のわるいウワサが、あなたのまわりにもあるかもしれないけど、神様はそれを放っておかれるお方ではないよ。イエス様のときのように、「神様の知恵はなによりもかしこい」ことをあなたもきっと体験できるからね！

いの
祈り

天のお父様、この日も、あなたの不思議な知恵でわたしをお守りください。

8月2日(木)



I コリント 15・7
ヤコブに現れ、次に、すべての使徒
たちに現れ。 7節

ヤコブというのは、イエス様の弟で、マリヤとヨセフの子どものこと。

「神様のひとり子、救い主？ そんなのありえない。ちょっとお兄ちゃん頭おかしいぜ？」そう思われても仕方ないのかもしれないね。ところが、ヤコブはこの後、復活のイエス様を見て信じ、教会のリーダーになっていったんだ。

「神の子」になったあなたのことを信じてくれない人がいるかもしれないね、でも、あなたの心にイエス様がいて生き方がかわるときに、あなたを見て、こんな風に変えられていく人がきっとたくさんいるよ。

いの
祈り

天のお父様、イエス様の家族が変えられたように、わたしのまわりのひともイエス様を信じることができますように。

8月3日(金)



I コリント 15・8
最後に、いわば、月足らずに生れた
ようなわたしにも、現れた。 8節

コリントの手紙を書いているこのパウロは、なんとイエス様を信じる人を捕まえてはこらしめていた人でした。イエス様の十字架や復活も直接は見えていなかったし、熱心なユダヤ教徒だったから、イエス様を信じる人が赦せなかったんだ。

でもあるとき、イエス様に直接、天から声をかけられる不思議な体験をして、イエス様を伝える人に生まれ変わったんだ。

ぜったいイエス様を信じないだろうな…と思うような人も、イエス様と出会うときに人生がこんなにも変わるんだね！ すごいね！

いの
祈り

天のお父様、今はイエス様を嫌っている人にも、イエス様がどうか語りかけ、生まれ変わらせてください。

8月4日(土)



I コリント 15・22
最も大事なことであなたに
伝えたのは、わたし自身も受けた
ことであつた。 3節

一週間、復活のイエス様に出会った人のことを聞いてみてどう思いましたか？

パウロが「私自身も受けた」と言うように、今日は「あなた自身」がどうかを考えてみてください。

わたしたちはイエス様の時代に、十字架や、死んで葬られ、よみがえったことを見ることはできなかったけれど「信じます」と言うときに、あなたもイエス様の復活を見、信じた人と同じだって、聖書は教えてくれているよ。

イエス様の復活の力をいただいて、あなたも毎日をすごせますように！

いの
祈り

天のお父様、イエス様の十字架と復活をわたしのこととして、信じます。

悔い改めて
福音を
信じなさい。



聖書
テマ
暗唱聖句

マルコ 1・14~15
神の国の福音
時は満ちた、神の国は近づいた。
悔い改めて福音を信じよ。

目標

マルコ 1・15
約束された神の国がキリストを
通して始まったことを信じる。

8月5日(日)

聖書
聖句

マルコ 1・14~15
悔い改めて福音を信じよ。

15節

今日から、「キリストの教え」について学びます。イエス様が30歳になられて神の国の福音を伝え始められました。「時は満ちた、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じよ」と。あなたは人が死ぬとどうなるか、どこへ行くのか、知っていますか？ 重大問題ですね。イエス様は神の国を伝えるに来てくださいました。神様の前に罪をおわびして、イエス様の十字架の身代わりを信じて、罪をゆるしてもらって神の国に入れるのです。死んだ後も永遠に。

いの祈り

天のお父様、永遠の神の国に入れる道を備えて下さり感謝します。悔い改めてイエス様を信じて入りたいです。

8月6日(月)

聖書
聖句

マタイ 7・13~14
狭い門からはいれ。滅びにいたる門は大きく、その道は広い。そして、そこからはいって行く者が多い。13節

「赤信号、みんなで渡ればこわくない」。この考えは滅びにつながる広い道で、大きな門です。みんながやってるから、と罪を犯し続けていけば、広い滅びへの道を歩いているのです。そんな人が多いとイエス様も言われます。でも「狭い門からはいれ」と招いておられます。それはどんな門かといえば悔い改めての門です。そしてそれは命にいたる大切な門です。命にいたる道は細いので歩くのも困難です。自分一人やっと歩けるくらいかもしれません。

いの祈り

天のお父様、狭い悔い改めての門を通り、細い道、命の道がどの道であるかを知って、しっかり歩ませてください。

8月7日(火)

聖書
聖句

Iヨハネ 1・5~10
もし、わたしたちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる。9節

悔い改めを、きちんとすることはとても大切です。それは、自分の罪を告白することです。それによって、自分がどんなに罪深い人間であるのかが、ハッキリとわからせてもらえるからです。そしてそんな私の罪を悲しんで、身代わりに十字架に死んでくださった救い主イエス様を仰ぐことです。それによって、「子よ、しっかりなさい。あなたの罪はゆるされたのだ」と、真実な神様から罪のゆるしを宣言していただけます。

いの祈り

天のお父様、悔い改めることは恥ずかしい狭い門ですが、しっかり悔い改めて、全部ゆるしていただけますよう助けてください。

8月8日(水)

聖書
聖句

Iコリント15・1~8

この福音によって救われるのである。
2節

パウロ先生が伝えた「この福音」によって「救われるのである」と、力強く記しています。パウロ先生が最も大事なこととしてコリントの人々に伝えたのは、自分自身も受けたことだったと言います。それは聖書に書かれてあるとおり、キリストがわたしたちの罪のために死んだこと、葬られたこと、3日目によみがえったこと、そして現れてくださったことだと言っています。そうです。イエス様の十字架と復活ですね。あなたもこの福音を信じていますか？

いの
祈り

天のお父様、イエス様の十字架と復活の福音こそ、すべてのすべてです。信じる人が救われることを感謝します。

8月9日(木)

聖書
聖句

ローマ1・16~17

わたしは福音を恥としない。それは、ユダヤ人をはじめ、ギリシャ人にも、すべて信じる者に、救を得させる神の力である。
16節

「イエス様のことや教会のこととか、お友達には恥ずかしくて言えないな」と思いますか？ とんでもない！と返事をするのはパウロ先生です。「わたしは福音を恥としない」。イエス様のすばらしい救いのグッド・ニュースです。ニュースはどんどん伝えるべきです。しかもこの福音、このグッド・ニュースとえば、これを信じるならば救われるというのですから！ユダヤ人、ギリシャ人、全世界の人々の救いの福音です。

いの
祈り

天のお父様、本当に福音の力の大きいことを思います。多くの人の人生を変えてきたこの福音を伝えたいです。

8月10日(金)

聖書
聖句

エペソ2・1~10

あなたがたの救われたのは、実に、恵みにより、信仰によるのである。8節

私たちはみんなオギャーと生れたままだったら、罪の中に死んでいる者です。自分で自分を罪から救えないし、罪深い自分を変えることもできません。神様はそんな私たちをかわいそうに思ってください、イエス様をおつかわしくださって、滅びの川から救い上げてくださいました。ただ一方的な神様の大きな愛とあわれみと恵みによって。その救い主イエス様をただ信じて、イエス様と共によみがえらせていただいたのです。感謝あるのみ。

いの
祈り

天のお父様、あなたの変わらない愛とあわれみと恵みを感謝します。信仰によって救われました。信じ続けます。

8月11日(土)

聖書
聖句

IIテモテ2・8~1

ダビデの子孫として生れ、死人のうちからよみがえったイエス・キリストを、いつも思っていなさい。これがわたしの福音である。
8節

あなたはよくお手紙を書きますか？ もし、今から書く手紙が、地上での最後のお手紙だとしたら、何をかくでしょうね?! パウロ先生が地上最後のお手紙を、愛する息子のような弟子のテモテに書きました。「イエス・キリストをいつも思っていなさい。これがわたしの福音である」でした！テモテはしっかり心に刻んで、いつも、何をする時も、イエス様のことを思っていたことでしょう。私たちもそうしたいですね。

いの
祈り

天のお父様、毎日いろいろなできごとがありますが、いつもイエス様のことを思っていることができますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 7・36～50
罪赦された者として
この女は多く愛したから、その多くの罪はゆるされているのである。 ルカ 7・47

目標

多くの罪を赦された者として、キリストを愛して生きる。

8月12日(日)

聖書
聖句

ルカ 7・47
この女は多く愛したから、その多くの罪はゆるされているのである。 47節

あなたは、自分が受けなければいけない罪の罰を、イエス様がぜんぶせおって受けてくださったと知ったとき、どんな気もちでしたか？

この「罪の女」とよばれていた人はきっと、「イエス様がわたしの救い主！」とはっきりわかって、うれしくて、いても立ってもいられなくなり、自分にできるせいっぱいのことを、イエス様におささげしたいと思ったんだね。

わたしたちも「赦されてよかったね」で終わるのではなく、自分にできるせいっぱいの感謝の気もちを、イエス様におささげしよう！

祈り

天のお父様、赦されたよろこびと感謝を、せいっぱいあなたに表します！

8月13日(月)

聖書
聖句

ルカ 7・36
あるパリサイ人がイエスに、食事をしたいと申し出た。 36節

ユダヤでは、先生とよばれる人をまねくことは良い行いで、いっしょに食事をしながらみんなでお話を聞くということがよくありました。中には、良い行いをしているのを見てもらいたいと思う人もいたみたい。

このときは、パリサイ人がイエス様をまねきました。でも、パリサイ人はイエス様のことをいつも悪く言う人たちです。

イエス様は、ご自分が試される所であっても喜んで行き、神様のことを伝えました。神様のことだけを思っておられたんだね。

祈り

天のお父様、自分のことばかりではなく、あなたのことを思っすごせませすように。

8月14日(火)

聖書
聖句

ルカ 7・37～38
涙でイエスの足をぬらし、自分の髪の毛でぬぐい、そして、その足に接吻して、香油を塗った。 38節

もし、あなたの近くに救い主イエス様がいたらどうするかなあ？

イエス様は清くて、わたしは汚れている。イエス様にふれることも、近づくこともできないんじゃないか、と思う人もいるかもしれないね。

でも、この「罪の女」とよばれていた人を見て！イエス様を信じるなら、だれから「罪人」とよばれていても、イエス様だけはやさしく受け入れてくださり、味方になってくださり、友となっくださるとわかるね！

祈り

天のお父様、こんなわたしでも、受け入れてくださり、友となっくださるイエス様に感謝します。

8月15日(水)



ルカ 7・39

それは罪の女なのだから。 39節

パリサイ人は、ユダヤ人の中でも、神様の教
えをキッチリ守ろうとしていた人たちです。だ
からよけいに、神様の教えを守らない人や罪人
と言われる人、汚れたものにさわると、自分も
汚れるかと思っかけてきっていたのでした。

外側のことばかり気にしている間に、じつ
は罪や汚れが、「自分の心の中から出てくる」
ということが分からなくなっていたんだね。
行いは正しくても、愛がなければ神様の前
には意味がないんだよね。

本当に清くされなければいけなかったのは、
このパリサイ人だったんだね。

いの
祈り

天のお父様、行いや、外側の清さばかり
りを気にするのではなく、心の中の清
さを気にして生きていけますように。

8月16日(木)



ルカ 7・40~42

返すことができなかったのに、彼は
ふたり共ゆるしてやった。 42節

このたとえ話の中で大切なことは、借りた
お金が小さかろうが大きかろうが、どうやって
も返せなかったことと、返せないはずのものが
ちよう消しにされたっていうことだよ。

そして、これは罪のお話なんだ。どんな小
さな罪でも、イエス様を信じるまでは、神様の
子どもになれないわたしたち。それが赦される！
罪をおかしたこともない者とされる！とい
うことをどれくらいふかく感じているだろう？

「罪が赦される」ということはすごいことだ
ね！ イエス様、ありがとう！

いの
祈り

天のお父様、罪が赦されたことの大き
さを、ふかく感じて、わすれることがあ
りませんように。

8月17日(金)



ルカ 7・44~47

少しだけゆるされた者は、少しだけ
しか愛さない。 47節

人からなにか助けられたり、してもらった
ときは「ありがとう」って言うよね？ そして、
その人のことがすっごく好きになっておかせ
ししたいし、役に立ちたいって思うよね。

これは罪が赦された人のしぜんな変化。神様
をよろこばせたい、イエス様の役にたたい
つて気持ちで、毎日をすごすようになるよ。

良いことをするから神様に愛されるんじ
やない、神様がまずわたしたちを愛してお
られることを知ろう。そして、こんどは、あ
なたが、だれかを愛し、赦していく人にな
ろうね。

いの
祈り

天のお父様、まずあなたが愛し、赦して
くださり感謝します。わたしも、あなた
と人を愛する子どもとしてください。

8月18日(土)



ルカ 7・48~50

罪をゆるすことさえるこの人は、
いったい、何者だろう。 49節

世界には、神様がいるとは信じていても、ど
うしてイエス様が救い主じゃないといけ
ないのかわからない人たちがたくさんいる
んだ。

そんな人たちの目から見れば、イエス
様を「何者だろう」と思うよね。

でも、自分の罪のこと、神様の愛の
こと、イエス様の十字架のことを知れば知
るほど、イエス様じゃなきゃだめなんだ
って、わかるね。

どうか、先に知ったあなたから、まだ
知らない人たちへ、イエス様のことを
伝えていってくださいね。

いの
祈り

天のお父様、イエス様を何者が分
からない人に、少しでもその意味を
伝えていけますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 8・22～39
レギオンからの解放
家へ帰って、神があなたにどんなに大きなことをしてくださったか、語り聞かせなさい。

ルカ 8・39

目標

キリストによる解放を体験し、証する者となる。

8月19日(日)

聖書
聖句

ルカ 8・39

家へ帰って、神があなたにどんなに大きなことをしてくださったか、語り聞かせなさい。 39節

神様のことを伝えるって、教会の先生にしかなできないことだと思いますか？ イエス様はね、「神様があなたにしてくださったことは、あなたが伝えるんだよ」と言います。

それは特別に、もっと神様のことをくわしく知ってからとか、いつか教会の先生になってからとかではなくて、今、あなたがいる場所で、家族や、お友達たちにお話するってことだね。

今日、あなたはどんな素晴らしいことを体験しましたか？ 神様に感謝したことはありますか？ それをみんなに話せるあなたでいてね。

いの祈り

天のお父様、今自分のいる場所で、あなたのしてくださったことを教えてあげられる人になれますように。

8月20日(月)

聖書
聖句

ルカ 8・26～27

悪霊につかれて長いあいだ着物も着ず、家に居つかないで墓場にばかりいた人に、出会われた。 27節

悪霊ってね、悪魔に仕える霊のことなんだけど、イエス様の時代は、イエス様のお働きをじゃまする悪霊が、きっとたくさん集まってきたんじゃないかな。ここで悪霊につかれた人は、もう人間らしいとは言えないようなすがたにされてしまってるよね。かわいそう…

ゲラサというのは、本当の神様ではない偶像の神を拝んでいた場所。真の神様のいない場所では、悪霊の働きは強いんだね。

たくさんの偶像がいる日本で、真の神を信じて生きるって、すごい守りだってことだね！

いの祈り

天のお父様、悪霊が働きやすい偶像の多い国の中で、真の神様であるあなたを信じて生きていけますように。

8月21日(火)

聖書
聖句

ルカ 8・28

いと高き神の子イエスよ、あなたはわたしとなんの係わりがあるのです。お願いです、わたしを苦しめないでください。 28節

こちらは初めて会ったつもりでも、相手はあなたのことをずっと前から知っていた、なんてこと、あるかもしれないね？

悪霊も、イエス様がどんなお方で、どんな力を持っているか、イエス様に会うと自分がどうなってしまうか、よく知っているのです。

わたしたちを「友」と呼んでいつもいっしょにいてくださるイエス様。あなたを苦しめる悪霊から守ってくださらないはずがないよ！

いの祈り

天のお父様、この日も、イエス様がいっしょにいて、すべての悪いものからお守りください。

8月22日(水)

聖書
聖句

ルカ 8・29

イエスが汚れた霊に、その人から出て行け、とお命じになったからである。 29節

人の心を汚すものってなんだろう？ たとえば、自分勝手にしたくなる心、いじわるや、うそや、悪い思いが心にあるとき、神様じゃなくて占いやおまじないなんか心をはかれているとき。神様を知っているはず、神様に喜ばれることがなんなのかわかってるはずなのに、なんで自分の力やがんばりで汚いものをなくせないんだろう？

そう、だからこそ、イエス様が必要なんだよね。イエス様はお言葉一つで、悪霊にも命じることができるお方。イエス様にさげぼう！

祈り 天のお父様、わたしの心を汚すものがあります。イエス様！助けてください！

8月23日(木)

聖書
聖句

ルカ 8・30

彼の中にたくさんの悪霊がはいり込んでいた。 30節

レギオンっていうのはローマの軍隊の名前で6000人いたんだって！ そんな力に、たったひとりで勝つてこないよね！！ そんなふうにして、悪霊はこの人を苦しめていたんだね。

でもね、人を神様から引き離そうとするものって、あなたのまわりにもきつとたくさんあるんじゃない？ すべてが悪霊の働きと言えないかもしれないけれど、悪霊はあの手この手で、神様を信じることができないようにやってくるものだと思うんだ。

それを感じるとき「いつも神様といっしょにいるほう」をえらべるあなたでいてください。

祈り 天のお父様、あなたから引きはなす力がきたとき、あなたといっしょにいることをえらべますように助けてください。

8月24日(金)

聖書
聖句

ルカ 8・31~33

豚の中へはいることを許していただきたいと、悪霊どもが願い出た。イエスはそれをお許しになった。 32節

底知れぬ所っていうのは、悪霊が行く地獄のような所で、そこには苦しいことが待っているみたい。悪霊はそんな場所に行くよりは、豚の中に行くほうがましだと言ったんだね。けっきょく、悪霊が豚に入ったとたん、湖の中でおぼれ死んでしまったんだね。

このときに悪霊も滅ぼされたかはわからないけど、悪霊に良い行き場はなく、やがては完全に滅ぼされる日がくることを知ってね！

祈り 天のお父様、悪霊が豚をえらんでもけっきょく行き場がなくなったように、やがてはあなたが滅ぼされることを知ることができ、ありがとうございます。

8月25日(土)

聖書
聖句

ルカ 8・34~37

ゲラサの地方の民衆はこぞって、自分たちの所から立ち去ってくださるようにとイエスに頼んだ。 37節

神様を知らない人が見たら、ひとりの人が悪霊から解放されたことよりも、豚がたくさん死んだことのほうがショックだったんだね。

神様を知らない人と知っている人では、ものごとの見方がずいぶんちがうなあ、と思いませんか？ 神様はすばらしいことをしてくださっているのに、それを感謝できないだけでなく、おびえたり、おいだすなんてね…。

神様はなによりも、人が救われることをたいせつにしておられること、知ってくださいね。

祈り 天のお父様、なによりも人が一人、あなたの救いを体験できたことを喜び感謝する心を持ってますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 8・43～48
長血の女の癒し
娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。
ルカ 8・48

目標

信仰によってキリストのみわざに与る者となる。

8月26日(日)

聖書
聖句

ルカ 8・48
娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。
48節

イエス様に、こんなふうにほめてもらえたらどんなにうれしいだろうなあ！でも、イエス様にほめられるようなこと、自分になんてあったっけ…。いえいえ、イエス様はね、あなたがなにかすばらしいことをしたからとか、教会の先生たちのようなお祈りができるから、「すごいいね」って言ったんじゃないんだ。

わからないこと、不安なことがたくさんある毎日の中で「イエス様！助けて！」と言える、今のあなたの小さくて、でもせいいっぱいの信仰を受け入れ、ほめてくださるんだよ！

いの祈り

天のお父様、小さなわたしの信仰でもたいていつにくださるイエス様に感謝します。

8月27日(月)

聖書
聖句

ルカ 8・43
医者のために自分の身代をみなはい果してしまっただが、だれにもなおしてもらえなかった。
43節

病気をしたら病院に行き治療してもらおうよね？この時代、病気であることはなにかの罪が原因だと思われていたし、病気の人は汚れているから、さわったり近づいたりしてはいけないと教えられていたんだ。病気が長引けば長引くほど、体だけではなく、心も傷ついて、この女の人は、苦しいくらい思いをしてくれようね。

あなたのまわりにも、だれからも相手にしてもらえない人、苦しんだり傷ついたりしてる人はいませんか？それが、イエス様と出会う時、イエス様がどんなお方か知る時だよ。

いの祈り

天のお父様、体も心も傷ついた人が、イエス様と出会うことができますように。

8月28日(火)

聖書
聖句

ルカ 8・44
この女がうしろから近寄ってみ衣のふさにさわったところ、その長血がたちまち止まってしまった。
44節

このとき、イエス様の人気はすごいもので、まるで芸能人を追いかけるファンのように人がついてくるのでした。ということは、病気の女の人がイエス様に近づくなんて命がけ！

そして、とうとう追いついたイエス様の衣のすそをさわったとたん、いままでどうしようもなかった病気が治ってしまったのです！！

イエス様の衣に力があつたから？いいえ。イエス様をただ心から信じて手を伸ばした、その信仰を、神様は見えておられたからだよ！

いの祈り

天のお父様、わたしも信仰の手をのばして、イエス様に近づけますように。

8月29日(水)



ルカ 8・45~46

わたしにさわったのは、だれか。
45節

イエス様、怒ってるのかなあ？ いえいえ。

このとき、たくさんの人がぎゅうぎゅうにイエス様のまわりでおしくらまんじゅうしていたのに、イエス様はたった一人の人が気になっていたのです。

なんで一人だけ気になったのかって？ きつと、ぎゅうぎゅうづめの人とイエス様にさわった女の人に、なにがちがうものがあつたからだよ。だとしたらそれは、信仰！

たくさんのおんなのなかに、キラッと光るような信仰を、イエス様は見逃さないで「だれか？」と言って見つけ出してくださるんだね。

いの

祈り 天のお父様、どんな場所でも、どんな時でも、イエス様はその信仰を心にとめてくださることをありがとうございます。

8月30日(木)



ルカ 8・46

力がわたしから出て行ったのを感じたのだ。
46節

力が出て行ったなんて、イエス様もパワーがなくなるときがあるの？ それとも汚れた人がさわったからイエス様も汚れちゃつたの？

そんなことはありません。だって、イエス様はこのあとすぐに、亡くなった女の子を生き返らせるくらい力のあることをしてるからね。

それどころか、イエス様は全世界の人のために十字架にかかって、永遠の命を約束してくださつたでしょう。

イエス様のところに信仰をもってくる人には、神様は大きくて、ぜったいなくならない力を、いつでも豊かに流してくださること、知っていてください。

いの

祈り 天のお父様、あなたの力は永遠に豊かであることを信じます。

8月31日(金)



ルカ 8・47

震えながら進み出て、みまえにひれ伏し、イエスにさわった訳と、さわるとたちまちなおつたこととを、みんなの前で話した。
47節

12年もの間、「汚れている」と言われて、だれからも見捨てられて生きてきた女の人には、みんなの前でお話することがどれくらい勇気がいるか、想像できるかな？

でも、そんな人生はもう終わって、新しい、きよい体と人生が始まったことを、みんなに知らせてほしい、それがイエス様の願いだよ。それが分かるためには、勇気を出して、みんなにわかるように、お話しするんだね。

あなたもそうであってほしいと、イエス様は願っておられるんだよ！

いの

祈り 天のお父様、新しい命をもらったことをみんなに話せる勇気をください。

9月1日(土)



ルカ 8・48

娘よ、あなたの信仰があなたを救つたのです。安心して行きなさい。
48節

病気の女の方は、ただ自分の病気だけ治ればいいと思つていたのかな？ だとしたら、治つたあとも、生活になんの変わりもなかつたかも。だから、今の生活も、人間関係も、罪人と呼ばれることも、すべて解決したかたはず。

そして、すべて解決して、新しい人生をくださるのは、イエス様お一人しかいない！と信じていたから、こんなすごい体験ができたんだね。

あなたは、イエス様が、あなたの人生を変えてくださることをどれくらい信じてるかな？

この女の人のようなすばらしい体験、あなたもできますように！

いの

祈り 天のお父様、わたしの人生がイエス様によって変えられますように。

ラリー・デイ



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 10・38～42
無くてならぬもの
無くてならぬものは多くはない。
いや、一つだけである。

ルカ 10・42

目標

人間にとってなくてはならない
こととして、み言葉に聞く。

9月2日(日)

聖書
聖句

ルカ 10・38～42
無くてならぬものは多くはない。いや、一つだけである。 42節

今日は「ラリーデー」です。み言葉によって、夏のだれた心と体をシャキッとさせていただきましたか？ さあ、いよいよ学校も始まりましたね。気持ちの良い秋になるから、あれもしたい、これもしたいといっぱい計画を立てていると……ハイ！ イエス様のみ声、「無くてならぬものは多くはない。いや、一つだけである」と。その大切なただ一つのこととは、ここに登場するマリヤのように、しっかりとイエス様のみ言葉に聞くことなのです。

いの祈り

天のお父様、私にとっても、なくてはならない一番大切な、「み言葉に聞く」ことができますようにと祈ります。

9月3日(月)

聖書
聖句

ルカ 10・38～39
この女にマリヤという妹がいたが、主の足もとにすわって、御言に聞き入っていた。 39節

教会学校にきて、お話を聞くのは大好きですか？ それとも、あんまりよく聞かないで、ゴソゴソ、そわそわしたり、隣のお友だちと、ヒソヒソ話したりしますか？ 「アレ？ きょうは、何のお話だったのかな？」なんてことになりませんように！ よろしくお願ひしますよ。マルタという姉と、マリヤという妹がいました。妹のマリヤは、イエス様の足もとにすわりこんだのです。そして、イエス様の語られるみ言葉に聞き入っていたとあります。ならないね。

いの祈り

天のお父様、マリヤがイエス様の足もとにすわって、み言葉に聞き入っていたように、私もそうしたいです。

9月4日(火)

聖書
聖句

ルカ 10・40
主よ、妹がわたしだけに接待をさせているのを、なんともお慰みになりませんか。 40節

イエス様は話される、マリヤはしっとり、じっくり、み言葉に聞き入っています。そこに突然、姉マルタの声がします。イエス様に向かって、きょうの聖句を言います。それにおまけに、「わたしの手伝いをするように妹におっしゃってください」って！ マルタはちっともみ言葉を聞かず、接待のことであまりに忙しくしていて、まさに、心を亡ぼしてしまい、心を取りみだしてしまっ、こう言ってしまいました。あなたにもそんな時がないですか？

いの祈り

天のお父様、あまりにいろんなことで忙しくして、心が乱れてとんでもないことを言ったりしませんように。

9月5日（水）

聖書
聖句

ルカ 10・41

マルタよ、マルタよ、あなたは多くのことに心を配って思いわずらっている。 41節

心がイライラしているお友だちや、お家の人から、このマルタのようにガンガン言われたら、どうですか？「もう、頭にきちゃう、こっちまでイライラしてくる」なんてことになりかねませんね。ところが、いつも心おだやかなイエス様はマルタに静かに、けれどもはっきりと言われます。「マルタよ、あなたはあまりにたくさんの方に心を配っているのだよ。心配のとりこになっているよ」とね。イエス様の目にはマルタの心が見えていたのです。

いの祈り 天のお父様、しなければいけないたくさんの方で、心が押しつぶされてしまわないように助けてください。

9月6日（木）

聖書
聖句

ルカ 10・42

そしてそれは、彼女から取り去ってはいけません。 42節

「無くてならぬものは、一つだけなのだよ」とイエス様は言われます。それは、ちょうどマリヤが、イエス様の足もとにすわって、み言葉に聞き入っていたという、そのことなのです。マリヤはその良い方、つまりなくてならない、大切な方を選びました。そしてそれは、彼女から取り去ってはいけませんのだと、イエス様は言われます。「そうか、み言葉に聞くことって、なくてはならないただ一つのこと、取り去られてはいけません大切なものか」と納得しました？

いの祈り 天のお父様、自分がみ言葉に聞くだけでなく、まわりのお友だちもみ言葉に聞き入れることができるよう心を配ります。

9月7日（金）

聖書
聖句

ヨハネ 12・1~2

イエスのためにそこで夕食の用意がされ、マルタは給仕をしていた。 2節

ベタニヤ、そこはイエス様の愛されたマルタ、マリヤ、ラザロのいた所です。イエス様にとっては心休まるオアシスのような所でした。ここはまもなく、イエス様がとらえられ、十字架につけられるという時のことでした。死んだ弟のラザロをよみがえらせてくださったイエス様に、マルタもマリヤも感激でいっぱいです。マルタはここでも夕食の接待をしていますね。

でも『あの時』から心が変えられたのです。自分ひとりでも喜んで主をもてなしました。

いの祈り 天のお父様、イエス様のみ言葉の力は、私たちの心を変えてくださいます。同じ事をしてもし新しい心でさせてください。

9月8日（土）

聖書
聖句

ヨハネ 12・3~11

すると、香油のかおりが家にいっぱいになった。 3節

さて、あの時、イエス様の足もとにすわって、み言葉に聞き入っていたマリヤはどうしたでしょう？「ああ、もうイエス様のために愛をお注ぎできる時は、今しかない！」と心に悟っていました。そこで、高価で、純粋なナルドの香油一斤を持ってきて、イエス様の足にぬり、自分の髪の毛でそれをふいたのです！フワッと、何とも言いえない香油のよいかおりが家中いっぱいになりました。イエス様はこのマリヤの愛の心にどんなにか慰められたことでしょう。

いの祈り 天のお父様、イエス様のみ言葉に聞き入っていたから、マリヤは時となすべき事がわかったのだと知りました。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 18・35～43
盲人の癒し
わたしに何をしてほしいのか。
ルカ 18・41

目標

願いを明確にして、祈る者となる。

9月9日(日)

聖書
聖句

ルカ 18・7
わたしに何をしてほしいのか。41節

お誕生日やクリスマス、ほしいものが目の前にあるとき、どうする？ なにも言わずにただじ〜っと見つめるだけ？ ちがうよね！ちゃんと手をのぼして、それをしっかり自分のものにしたい！「ほしい！ください！」って言うんじゃないかな！？

じつは、信仰もそれと同じなんだ。神様があなたにとびきりのプレゼントを用意してくださってるから、それを手をのぼして受け取ること、「ください」「ありがとう」って声に出して言うこと、それがとってもたいせつだよ。

神様に信仰のお祈り、できますように！

いの祈り

天のお父様、いつも、はっきりした信仰の手と口で、お祈りしていただけますように。

9月10日(月)

聖書
聖句

ルカ 18・35
イエスがエリコに近づかれたとき、ある盲人が道ばたにすわって、物ごいをしていた。35節

ガリラヤのほうからエルサレムに向かって旅をしていたイエス様とお弟子さん。そのエルサレムの少し手前の町がエリコでした。ここには、バルサムという木で作る目薬を求めて、目の悪い人がたくさん集まっていたみたい。

この時代、目が見えないことは、仕事ができないということ。だから、人々が入り出す町の門のところすわって、人からものをもらって生きていくしかありませんでした。

さびしい、悲しい、そんな人生。でも、そこにもすばらしいことが起こるって、知ってた？

いの祈り

天のお父様、どんな人生であっても、すばらしいことが起こること、ありがとうございます。

9月11日(火)

聖書
聖句

ルカ 18・36～38
声をあげて、「ダビデの子イエスよ、わたしをあわれんで下さい」と言った。38節

信じていないと言えない言葉ってあるよね。

「イエス様がわたしの救い主です」とか「あなたにたよるしか方法はありません」とか。

ここで目が見えない人が大声で叫んでいるのはそういう意味のことなんだ。

たくさんの方が「自分は持っている」「死んでも天国に行ける」「あなたに頼らなくても勝手に生きていけます」という時代の中で、わたしたちはどれくらい、イエス様にこんなふうにかき叫んだり、信じ続けたりできるだろうね…。

これはあなたへのチャレンジ！

いの祈り

天のお父様、この時代の中で、はっきりとした信仰を持ち続けることができますように。

9月12日(水)



ルカ 18・39

先頭に立つ人々が彼をしかって黙
らせようとしたが、彼はますます激
しく叫びつづけた。 39節

だれかから怒られたら、あなたはどんなふうになるでしょう。きっと、心がグシャッとつぶれたような、ポキッとおれたような感じで、元気をなくして、だまりこんじゃうかな？

ところが、人からどんなに怒られてもめげない、くじけない、つぶれないで叫び続けた、この人を見て！

自分の救いのために、命がかかっていることのためなら、人からどんなにじゃまされても、押さえつけられても、叫ぶことをやめない！

信仰のたたかいでたいせつなことだね！

いの
祈り

天のお父様、イエス様に近づくときにじゃまされても、負けない強い心ください。

9月13日(木)



ルカ 18・40

イエスは立ちどまって、その者を連れて来るように、とお命じになった。 40節

イエス様がエルサレムに向かっていた理由、それは十字架につくためでした。そして、そのことをイエス様からはっきりと教えられていたのにぜんぜん理解できないお弟子さんたち。それは、目の前にいる盲人のように、心の目がくもって見えなかったからです。

イエス様は、ご自分が十字架にかかるために向かう道の途中で、信仰のある盲人と、信仰のないお弟子さんを出会わせて、その心の目を開こうとなさったのです。イエス様すごいね！

いの
祈り

天のお父様、十字架に向かう中でも、たくさんのことを心にとめて、教えてくださったイエス様を感謝します。わたしの心の目も開いてください。

9月14日(金)



ルカ 18・42

見えるようになれ。あなたの信仰が
あなたを救った。 42節

この盲人の目を、イエス様が治したのは、その人がかわいそうだったから？ あんまりしつこくうるさかったから？ いいえ。

今ある命がたいせつで、目に見えるものだけで何を信じるか決めているわたしたちだけど、ほんとは、心の目が開いていてほんとうに必要なことが何かが見えていること、それがたいせつなんだね。

「イエス様でなきゃ救われない」「イエス様にたよるしか道がない」という“100パーセントイエス様”の信仰が、イエス様から力をももらうヒケツなんだね！

いの
祈り

天のお父様、100パーセントイエス様の信仰で歩む人生を生きられますように。

9月15日(土)



ルカ 18・43

神をあがめながら、イエスに従って
行った。これを見て、人々はみな神
をさんびした。 43節

目が見えるようになったら、今までできなかったこと、仕事して、結婚して、好きなこといろいろやる、そんなあたりまえのふつうの生活をしたい、そう思うよね？

でも、この男の人はちがったんだ。そんなことが目的じゃなかったんだ。そのしょうこに、イエス様がしてくれたことが、神様からの贈り物だって気づいていて、賛美しながらイエス様にぴったりついて行ったんだから。

そして、神様に変えられた喜びの姿は、まわりにいるたくさんの人にも喜びを与えるんだね。

いの
祈り

天のお父様、自分の生活をよくするための人生よりも、イエス様にしがたうことを喜べる人生にしてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 19・1～10
キリストとの出会い
人の子がきたのは、失われたものを
尋ね出して救うためである。

目標

ルカ 19・10
救い主キリストに出会い、キリストを心に迎え入れる。

9月16日(日)

聖書
聖句

ルカ 19・1～10
人の子がきたのは、失われたものを
尋ね出して救うためである。 10節

かわいいペットがいなくなって、必死で捜したことがあるでしょうか。「おーい！ 帰っておいでーフラフラしてたら死んじゃうよう」って。見つかった時はうれしかったでしょう。イエス様も、神様のもとから離れて、自分勝手に生きて、そのまま永遠に滅びてしまう私たちを見つけ出して、救うために来てくださいました。ここには、ひどいやり方で取税人のおかしらになったけど、とっても淋しかった、失われていたザアカイの救いの物語があります。

いの祈り 天のお父様、あなたのもとから離れ迷い出て失われている私たちを、尋ね出して救ってくださるイエス様を感謝します。

9月17日(月)

聖書
聖句

ルカ 19・1～2
この人は取税人のかしらで、金持であった。 2節

あなたの名前には、どんな意味がこめられていますか？「ザアカイ」という名前は、日本流に言うと、「正くん」とか、「清くん」という、とても良い名前です。ところが、そんな名前にはふさわしくない生活をしていたのです。取税人とはローマの手先で、同じユダヤ人から税金を取るの、嫌われ者でした。どうして金持ちになれたか、わかるでしょう。そう、余分なお金を取りたてていたのです。正しくも清くもない、心さびしい人だったのですね。

いの祈り 天のお父様、よい地位と、たくさんの財産が幸せの条件ではないということが、ザアカイを見てよくわかります。

9月18日(火)

聖書
聖句

ルカ 19・3～4
それでイエスを見るために、前の方に走って行って、いちじく桑の木に登った。 4節

みんなからのけ者のようにされていたザアカイには、もう一つ、くやしい気持ちがありました。「背が低かった」のです。つまり、人々からは「チビ」と言われて育ってきたのですね。それで、「よーし、今に見ている」と、取税人のかしらにまでなり、がっばりお金をためていったのでした。そのザアカイが、「イエス様を見たい！」と思ったのです。でも、人々が邪魔でとても見えません。ついにピンと来て、いちじく桑の木に登りました。しっかり見ようとしてね。

いの祈り 天のお父様、ザアカイの熱心な思いが伝わってきます。わたしも熱心に教会に通ってイエス様とお会いしたいです。

9月19日(水)

聖書
聖句

ルカ 19・5~7

ザアカイよ、急いで下りてきなさい。
きょう、あなたの家に泊まることに
しているから。 5節

「あっ、イエス様だ！」と、じっと見つめて
いると、ザアカイのいるすぐ下でピタッと止ま
られ、上を見あげて、言われます。「ザアカイ
よ。「エエーッ!? 私のこと!?!」自分の名前
をちゃんと呼ばれて、(こんなこと全然なかつ
たかも)ザアカイは心臓がドキドキ! 次の瞬
間、「急いで下りてきなさい。きょう、あなた
の家に泊まることにしているから」「ヒエーッ、
今晚! うちに?」ザアカイはころがり落ちる
ように木からおりてイエス様を迎えました。

いの
祈り 天のお父様、ザアカイの破裂しそうな心臓
と、喜びでいっぱいのが目に浮かびます。
わたしも喜んでイエス様を迎えます。

9月20日(木)

聖書
聖句

ルカ 19・8

主よ、わたしは誓って自分の財産の
半分を貧民に施します。 8節

だ一れも相手にしてくれないのに、イエス様
だけが、こんな私に声をかけ、家にまで来てく
ださったと思うと、ザアカイの心に光がさし
てきました。自分がやってきたいろんな悪いこ
とが見えてきたのです。「ああ、私はまちがっ
ていた。私もイエス様のように、きよく、正し
く、やさしくなりたい」と、ザアカイは心から
悔い改めて、180度方向転換しました。そして罪
のつぐないをするとイエス様に言いました。
財産の半分は貧民にほどこし、不正をして得た
分は四倍にして返しますと。

いの
祈り 天のお父様、イエス様だけが、人の心に
働いて、変えてくださるお方です。イエ
ス様に近く生活できますように。

9月21日(金)

聖書
聖句

ルカ 19・9~10

きょう、救がこの家に来た。この人
もアブラハムの子なのだから。 9節

「きょう、今! 救いがこの家に来た」と、
イエス様は心から喜ばれました。ザアカイは、
イエス様を喜んで自分の家に迎え入れたと共
に、心の内にもしっかりとお迎えしましたか
ら。きょう、あなたの心の中にもイエス様を
お迎えしましょう。きょう、あなたのお家にも、
イエス様をお迎えしましょう。「人の子」とは
イエス様のことです。このようにして、イエス
様は、「神様の前から失われている人を尋ね
出して救うために来ました」と言われます。

いの
祈り 天のお父様、あなたを知らず、失われて
いた私たちを尋ね出して救うために、イ
エス様をつかわしてください感謝します。

9月22日(土)

聖書
聖句

マタイ 9・9~13

わたしがきたのは、義人を招くため
ではなく、罪人を招くためである。 13節

ここに、もう一人の取税人がいます。マタイ
という人です。イエス様は、この人にも、「わた
しに従ってきなさい」と声をかけられました。
すると彼はすぐに立ちあがって、イエス様に
従ったのでした。食事の時には、多くの取税人
や罪人たちがきて、イエス様や弟子たちと共に
席に着きます。パリサイ人たちが「どうしてこ
んな人たちと食事をするのか?」と言うのを聞
いて、「わたしは罪人を招くためにきたのだ」と
言われます。何と感謝なことでしょう。

いの
祈り 天のお父様、イエス様は本当に、天からの
「福音」、グッド・ニュースです。すべての
人がイエス様と出会いますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨブ 1・1~22

ヨブ
主が与え、主が取られたのだ。主のみ名はほむべきかな。

ヨブ 1・21

目標

試練をも神のなさることとして受け止め、神を賛美する者となる。

9月23日(日)

聖書
聖句

ヨブ 1・1~22

そのひととなりは全く、かつ正しく、神を恐れ、悪に遠ざかった。1節

今週はヨブという人のお話です。彼が生きていた時代、彼が住む東の地方でいちばんのお金持ちでした。子どもは10人、しもべも大勢いました。羊やらくだなど、たくさんの家畜も飼っていました。

そんなお金持ちのヨブですが、お金を使いほうで、えらそうに生きていたわけではありません。神様を心から信じていて、神様の前で正しく生きる人でした。ヨブほど正しい人は、ほかにいませんでした。罪を犯すことがないようにしよう！といつも思いながら歩んでいたのです。

祈り

天のお父様、ヨブの正しい信仰をとoshite、神様のみこころを教えてください。

9月24日(月)

聖書
聖句

ヨブ 1・1~5

ヨブは彼らと呼び寄せて聖別し、朝早く起きて、彼らすべての数にしたがって燔祭をささげた。5節

ヨブの子どもたちも、当然お金持ち。息子たちは自分の家がありました。「さあ、ごちそうを作ったから家に食べにきてよ！」「それはいいねえ、じゃあ今度はわたしの家でごちそうを食べよう！」と、兄弟どうしで招待したり、されたり、楽しい生活を送っていました。

ヨブはそんな子どもたちを呼び、神様の前に犠牲をささげ、お祈りをしました。「もしかしたら、子どもたちが罪を犯したかもしれない」と思ったからです。ヨブは、いつも家族のために祈る人でした。

祈り

天のお父様、わたしも、いつも家族のために祈りしていきます。

9月25日(火)

聖書
聖句

ヨブ 1・6~12

彼は必ずあなたの顔に向かって、あなたをのろうでしょう。11節

正しいヨブに、サタンが目をつけました。サタンがこっそり神様の前に来たとき、神様はサタンに言われました。「ヨブのように正しい人はいないことに気づいたか」。するとサタンは言いました、「それはヨブがお金持ちだからです。財産がなくなれば、かならず神様の悪口を言いますよ！」。

そこまで言うサタンに、神様はヨブの財産を取りさることを許可しました。えっ!? と思うかもしれないけど、あえて神様は、ヨブが試練にあうことをゆるされたのでした。

祈り

天のお父様、ヨブの財産を取りさることは、あなたの深いお考えがあったのだと信じます。

9月26日(水)



ヨブ 1・13~17

わたしはただひとりのがれて、あなたに告げるためにきました。 15節

サタンは、ヨブの財産や関わる人々にしのびよりしました。ヨブのしもべたちは殺されてしまい、家畜は焼きほろぼされ、盗まれてしまったのです！ヨブのしもべも財産もいっぺんになくなってしまいました！命からがら逃げてきたしもべたちが、そのようすを次々にヨブに話したのでした。ヨブはどんなにショックだったことでしょうか…。

わたしたちは、つらいことがおこるとなかなか受けとめられないですね。シクシク泣いてばかりで、立ちあがれなくなることがあります。あなたはどうですか。

いの

祈り 天のお父様、わたしはつらいことがおきたとき、受けとめる自信がないです。立ち上がる力をください。

9月27日(木)



ヨブ 1・18~21

主が与え、主が取られたのだ。主のみ名はほむべきかな。 21節

つらい試練が次々とおこるヨブに、いちばんつらいことがおきました。大きな風がふいて息子の家がつぶれてしまい、中にいた10人の子どもたちが死んでしまったのです。ヨブは悲しみのどん底につき落とされてしまいました。しかし、こんな悲しみのなかで彼はこう言ったのです。「わたしはなにも持たないで生まれました。そしてなにも持たずに死にます。すべては主が与えてくださり、主が取りさられます。主のみ名をほめたたえます」。なんとということでしょうか！つらい試練の中、ヨブから出てきたことばは、神様への心からの賛美だったのです！

いの

祈り 天のお父様、わたしはつらいときに賛美ができるでしょうか。ヨブの信仰になりたいです。

9月28日(金)



ヨブ 1・22

すべてこの事においてヨブは罪を犯さず、また神に向かって愚かなことを言わなかった。 22節

子どもたちも財産も、いっぺんに失ったヨブ。ふつうなら、あまりにもつらくて、たえられない状況です。しかし、ヨブは神様に文句ひとつ言わず、神様を賛美しました。

サタンは、ヨブがつらい試練にあえば神様の悪口を言い、罪を犯すと思い、ヨブにかかわるすべてのものをうばいました。なんとかしてヨブに罪を犯させようとしたのです。しかし、その悪だくみは大失敗に終わりました。ヨブの信仰は神様がみとめる本物の信仰でした。その信仰がサタンに勝利したのです！

いの

祈り 天のお父様、試練のとき、わたしが罪を犯さないように、サタンに勝利できるようにお守りください。

9月29日(土)



ヨブ 1・1~22

主が与え、主が取られたのだ。主のみ名はほむべきかな。 21節

わたしたちは、つら～い試練のとき、「神様どうして？」と文句ばかり言ってしまうがち。そんなときは、ヨブの賛美を思いだしてください。ヨブは、「自分に起こるすべてのことは神様が支配している、神様がなさることは、まちがいはない」と心から信じていたのです。ものすごい、神様への信頼があったんです。

ヨブのように、いつも神様との時間をもってください。そうすると神様のすばらしさがわかって、ますます信頼できるようになります。良いときもつらい試練のときも、いつも神様を賛美することができたらすばらしいですね！

いの

祈り 天のお父様、あなたを信頼し、どんなときもあなたを賛美できる人にならせてください。



聖書 伝道 12・1~14
テーマ あなたの若い日に
暗唱聖句 あなたの若い日に、あなたの造り主を覚えよ。 伝道 12・1

目標 幼い日、若い日に創造主を信じて幸いを得る。

9月30日(日)

聖書 伝道 12・1~14
聖句 あなたの若い日に、あなたの造り主を覚えよ。 1節

あなたにとって一番若い日は「今日！」ですね。「今日！」造り主である神様を、救い主であるイエスを信じていることができたなら最高だと思います。

これは今何才の人にも言えることですが、伝道の書はまちがいがなく「幼い日、若い日に創造主を信じていることは、大切であり幸せなことです」と言っています。今教会へ来ているお友だちは本当に幸せな子どもたちですよ！造り主があなたのために計画されていることが行われ、神様のお働きのため長く用いていただけるのです。

祈り 天のお父さま、若い日にこのようにして、教会に来ることができて感謝します。あなたのためにお用いください。

10月1日(月)

聖書 伝道 3・1~11
聖句 神のなされることは皆その時にか
 なって美しい。 11節

きれいなお花は、人々の心を明るくしてくれます。お花をつくってくださったのは神様です。その神様は、あなたの心も、お花のように美しい心にしてくださいます。美しいお花を見るたびに、造り主である神様を思い出しましょう。

もう一つ美しいものがあります。それは神様の時です。伝道の書には、いろんな時、いろんなタイミングが記されています。どんなことにもタイミングが大切です。あなたが若い日に神様を信じて救われ、そしてあなた自身を神様に献げるなら、それは最高に美しいことです。

祈り 天のお父さま、一番よい時に美しいことをなして下さるあなたに全てをおゆだねします。

10月2日(火)

聖書 伝道 4・9~16
聖句 貧しくて賢いわらべは、老いて愚かで、もはや、いさめをいれることを知らない王にまさる。 13節

どんなに立派な王様になっても、年を重ねるうちに愚かになって、よくないことをした者に対して何の忠告も警告もできないのは困ります。それに比べて、貧しいけれども賢い子どもの方がすぐれていると書かれています。私たちが賢い者にしてもらえるものは聖書のみ言葉です。だから小さい時から、字が読めるようになったらすぐたくさんのみ言葉に親しみ、覚えられたいですね。家庭礼拝や祈祷会でもしっかりみ言葉を読みましょう。

祈り 天のお父さま、小さい私ですが聖書をしっかり読んで、覚えられます。神様の知恵を心に満たしてください。

10月3日(水)

聖書
聖句

伝道 9・9～10

すべてあなたの手のなしうる事は、
力をつくしてなせ。 10節

このみ言葉は、わたしたちの信仰の霊の流れのもととなられたB・F・バックストン家の家訓のみ言葉です。バックストン家の子どもたちへの教育、霊育はすばらしいものでした。共に聖書を開き、その聖書にしるしをつけるのでした。A・P(アンサーズ ツウ プレイヤー)(祈りの答え)とかL・G(ラブ オブ ゴッド)(神の愛)など。朝食の時には、全員み言葉を一句ずつ暗唱しました。“力をつくしてなせ。”この家訓のもとに優秀な神の器たちが世界におくり出されました。

いの祈り 天のお父さま、家族みんないっしょに聖書を読み、お祈りをし、家族が神様のお役にたつようにしてください。

10月4日(木)

聖書
聖句

伝道 11・1

あなたのパンを水の上に投げよ、多くの日の後、あなたはそれを得るからである。 1節

パンを水の上に投げるなんて、ほんとに全く無駄としかおもえないようなことをやっていると思ってしまう。誰かのためのお祈りや、トラクト配布、手紙伝道など、神様のことを伝えようとするときに、そう思うかも知れませんね。水の上に投げられたパンは水の中にふやけてなくなっていくか、鳥か魚にパクリと食べられてしまうかです。でも聖書には、「多くの日の後、あなたはそれを得るからである」と記されています。私たちはみ言葉を信じて伝道に励みましょう。

いの祈り 天のお父さま、ちょっと見ただけではムダのように見えることも、愛をこめてすることができるようになります。

10月5日(金)

聖書
聖句

ガラテヤ 6・6～8

霊にまく者は、霊から永遠のいのちを刈り取るであろう。 8節

まくこと刈ることについて考えましょう。種まきをしたことありますか。楽しいですよ。スイカの種をまけばスイカを収穫します。人は自分のまいたものを刈り取るようになることがあります。肉にまくとは? 自分の欲ばりの思いで日を過ごすことです。食べ過ぎていろいろな病気になるように、肉にまく者は肉から滅びを刈り取ります。霊にまく者とは? 霊なる神の言われるとおりと、神様の祝福と永遠のいのちが与えられます。

いの祈り 天のお父さま、まくものを刈り取ることをよく知って、自分の欲ではなく、あなたの言われる通り歩ませてください。

10月6日(土)

聖書
聖句

ガラテヤ 6・9～10

わたしたちは、善を行うことに、うみ疲れてはならない。たゆまないでいると、時が来れば刈り取るようになる。 9節

種をまいても次の日すぐに芽は出ません。まだかなあつて待ちくたびれることもあるかもしれませんね。善いことをしつづけることが大切ですと、今日のみ言葉は言います。疲れてあきらめたりしないように。なまけないで、つまりやめないでやりつづけていくと、うれしい刈り取りがあるにちがいありません。だから機会を見つけて、だれにでも、特に信仰の友だちである教会のみんなに対して、刈り取りを楽しみにして善を行いつづけましょう。

いの祈り 天のお父さま、してほしいと思う善いことを、まわりの信仰の友にしてあげることができるようになります。